



九州・沖縄・山口の未来を拓く 100年シンクタンクを目指して

公益財団法人 九州経済調査協会 会長

柴戸 隆成

九州経済調査協会は、お陰様で10月25日に創立70周年を迎えます。これもひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

当会は、戦後間もない1946年に産学官を代表する方々の発起により設立されました。草創期よりフィールドワークを重視した調査と綿密なデータ分析を駆使し、九州・沖縄・山口地域の経済社会に関する調査研究に取り組み、その研究成果の社会還元に努めて参りました。

創立70周年を迎え、①「九州地域経済と九経調の70年史」の作成、②「30年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究、③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催、④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供の4つの記念事業を掲げて推進しております。

「九州地域経済と九経調の70年史」では、終戦から70年間の九州・沖縄・山口地域の経済と九経調の果たした役割を振り返り、九州地域の未来を考える一助とします。「九州地域発展戦略」では、概ね30年先となる2045年を目途とした九州地域の長期ビジョンと戦略を提示し、地域経済発展のための方向性を明らかにすることを目指します。「未来を考えるシンポジウム」では、将来にわたる持続的な発展を実現するために、各県が抱える中長期的課題および将来展望について地域の方々と共に考える機会を持ち、地域の未来を切り拓いていきたいと考えております。「ビッグデータの活用」では、ビッグデータやオープンデータを入手・活用し、新たな情報を皆様に提供いたします。

創立70周年を機に、あらためて当会設立の原点に立ち返るとともに、地域の皆様のお役に立てるよう「九州・沖縄・山口の未来を拓く100年シンクタンク」を目指して、役職員一同さらなる研鑽を重ねて参る所存でございますので、今後とも皆様方には格別のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。